

【重症化予防事業】

国民健康保険の特定健診やレセプトの状況を見ると糖尿病、高血圧の服薬者数、医療受診状況が県内平均と比較して多く、人工透析者数も多い状況にある。健診結果に合わせた情報提供と保健指導を実施し、糖尿病の重症化予防に取り組む。

1 血糖コントロール塾 7.0会

血糖コントロールに向けた意欲向上と生活習慣改善への実践をサポートするため、毎月実施している。

<実施状況>

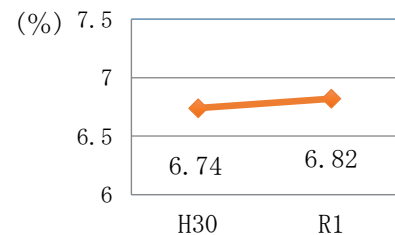
- (1) 実施日時 毎月第3火曜日（年11回・中止1回） 午後1時30分～午後3時
- (2) 実施場所 保健センター
- (3) 対象者 HbA1c 7.0%前後の方
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士 ※8月：健康づくりリーダー、2月：歯科衛生士
- (5) 内 容 健康チェック（体重・血圧・簡易随時血糖値）
各月テーマに合わせた参加者トークとミニ講話、情報提供、体験実技
必要に応じて医療受診・治療継続の勧奨

<実施結果> 実人数20人（うち新規4人）、延人数145人（月平均13.2人）

(1) 実人数内訳（年齢・性別・保険種別）

年齢	男性	女性	国保	後期高齢	その他
40～64歳	1	0	0	-	1
65～74歳	4	9	9	-	4
75歳以上	2	4	0	6	0
合計	7	13	9	6	5

(2) HbA1c 平均値の変化



※2年参加10人の健診データより

(3) 各月内容及び参加人数

月	内 容	人数	月	内 容	人数
4月	糖尿病のメカニズム	17	10月	運動の秋！みんなで歩こう	12
5月	プラス10分で運動効果	13	11月	健診結果からの今後の健康管理	12
6月	暑い季節の飲み物に注意	15	12月	年末年始の注意点	9
7月	血糖値と生活リズム	18	1月	年末年始の振り返り、ストレッチ	10
8月	室内体操で血管若返り	16	2月	糖尿病と歯の関係	10
9月	食欲の秋！果物や間食に注意	13	3月	中止	

(人)

2 からだ&血管若返りセミナー（高血圧重症化予防）

高血圧の服薬者数及び医療受診者数が多く、脳血管疾患や心疾患も多いことから平成27年度より高血圧の重症化予防のための体験型のセミナーを実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 令和元年12月2日（月）、12月19日（木）
 1クール：午後1時30分～3時25分
 2クール：午後2時30分～4時25分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 対象者 令和元年度特定健診の結果で血圧が高めの方、市民
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士、ヘルスメイト、運動指導士
- (5) 周知 特定健診の結果下記に該当した方に案内ハガキ送付（合計699人）
 高血圧服薬なし 40～69歳：血圧130/85mmHg以上
 70～74歳：血圧140/90mmHg以上
 高血圧服薬あり 40～69歳：血圧130/85mmHg以上
 70～74歳：血圧160/100mmHg以上
- 11月～12月に実施した事業にてちらしを配布（約200人）、広報
- (6) 内容 講話・参加者トーク：血圧のメカニズム
 食生活：高血圧予防のための食事講話と体験（減塩、野菜摂取）
 運動：高血圧予防のための運動講話と体験
 個別保健指導：重症化予防の対象者、特定保健指導対象者はセミナー終了後に個別で保健指導を実施

<実施結果>

① 参加者数

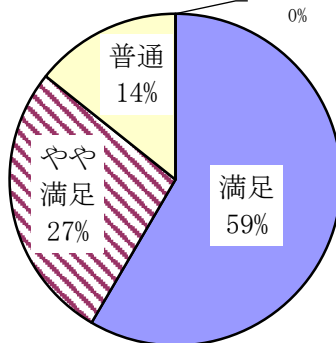
実施日	参加者数	内) 国民健康保険	内) 後期高齢者医療
12月2日	28	26	2
12月19日	20	17	3

(人) ②参加者の男女別年齢別

年齢	男	女	計
55～59	0	1	1
60～64	3	4	7
65～69	5	10	15
70～74	6	14	20
75以上	1	4	5
合計	15	33	48

③アンケート結果

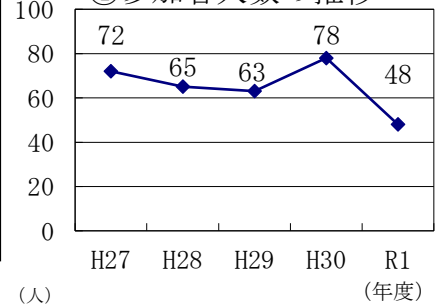
ア セミナー満足度



イ 気づき、今後取り組みたいこと

- 食事
 ・塩分に気をつける 31人 (64.6%)
 ・野菜をとる 10人 (20.8%)
 など
- 運動
 ・プラス 10 15人 (31.3%)
 ・筋トレ・ストレッチ 7人 (14.6%)
 ・ウォーキング 8人 (16.7%)
 など

④参加者人数の推移



3 糖尿病性腎症重症化予防プログラム

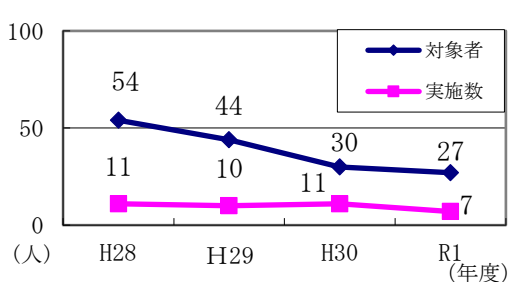
糖尿病の重症化予防を目的に、特定健診査結果から糖尿病性腎症の疑いがある者に対し、平成28年度より医療未受診者の受診勧奨と主治医と連携した保健指導を実施している。

<実施状況>

- (1) 実施期間 令和元年6月～令和2年3月
- (2) 実施場所 保健センター、自宅
- (3) 対象者 特定健診の受診者のうち、下記の条件に当てはまる方
 40歳～64歳 HbA1c 6.5%以上または空腹時血糖126mg/dl以上かつ尿蛋白+以上
 65歳～74歳 HbA1c 7.0%以上または空腹時血糖130mg/dl以上かつ尿蛋白+以上
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士
- (5) 内容
 - ①受診勧奨: レセプトで医療機関未受診者に対し、医療機関へ受診勧奨を行う
 - ②保健指導: 糖尿病性腎症について情報提供と医療受診状況を確認。健診受診医療機関、主治医の先生の了解のもと、保健師及び管理栄養士により糖尿病、腎臓病の重症化予防の保健指導、栄養指導を行う

<実施結果>

- ① 保健指導 対象者27人（受診勧奨対象者4人を含む）情報提供（実施率100%）
うち新規該当者18人
- ② 受診勧奨 対象者4人全てに口頭かつレセプトにて受診確認（勧奨実施率100%）



③主治医との連携状況

平成28年度 面談実施率20.3% 連携延17件
 平成29年度 面談実施率22.7% 連携延32件
 平成30年度 面談実施率36.7% 連携延22件
 令和元年度 面談実施率25.9% 連携延10件

④進捗管理 10月、1月、4月に内部打ち合わせ

対象者 年齢	保健指導（受診勧奨が必要な方）		②面談実施	
	男	女	男	女
40～49歳	0	0	0	0
50～54歳	0	1 (1)	0	1
55～59歳	1	0	0	0
60～64歳	3	2	0	0
65～69歳	4	2 (1)	1	2
70～74歳	8 (2)	4	2	0
75歳	1	1	1	0
小計	17 (2)	10 (2)	4	3
合計	27 (4)		7	

4 慢性腎臓病重症化予防プログラム

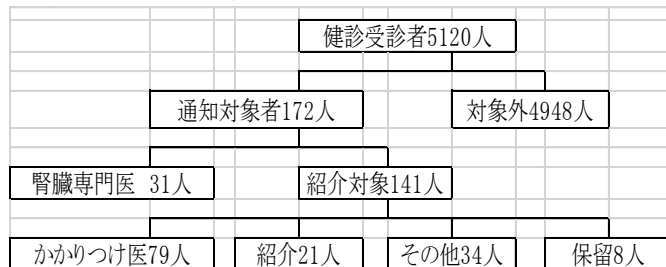
糖尿病の重症化予防を目的に、特定健診査結果から糖尿病性腎症の疑いがある者に対し、令和元年度よりプログラム対象者に対し医療未受診者の受診勧奨と主治医との連携を実施している。

<実施状況>

- (1) 実施期間 令和元年6月～令和2年3月
- (2) 実施場所 保健センター、自宅
- (3) 対象者 令和元年度特定健診の受診者のうち、下記の条件に当てはまる方
 - ① eGFR < 45ml/min/1.73m²または尿蛋白2+以上
 - ② 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに該当
- (4) スタッフ 管理栄養士3人
- (5) 内容
 - ① 本人への通知：プログラムの対象となったことを通知。医療未受診者（レセプトで確認）には受診勧奨を行う。
 - ② 健診受託医療機関への通知：特定健診の結果、プログラム該当者について連絡票を送りどのような対応をとるのか返信をもらう。
 - ③ 保健指導：全員へ健診結果と腎臓病について情報提供を行い、医療受診状況を確認する。糖尿病性腎症重症化予防プログラムに該当する人へは健診受診医療機関、主治医の先生の了解のもと、保健師及び管理栄養士により糖尿病、腎臓病の重症化予防の保健指導、栄養指導を行う。
 - ④ 受診勧奨：レセプトにて受診が確認できない者へは、受診勧奨を行う。

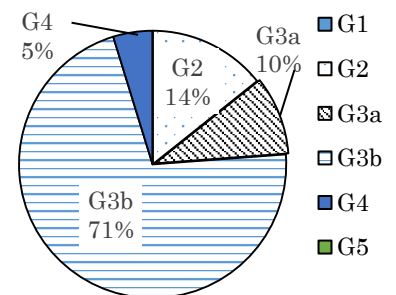
<実施結果>

(1) 紹介対象者の状況

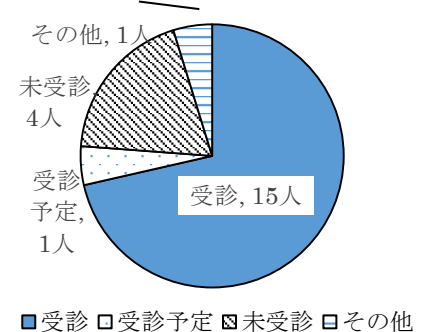


- ① 連携状況：健診を受託した29医療機関のうち通知した医療機関は27カ所（残り2医療機関は人間ドック）
- ② 受診勧奨：対象者26人 全てに通知を行い、レセプトにて受診確認（勧奨実施率100%）受診していない人へは電話にて再勧奨を行った。受診済21人、未受診5人
- ③ 腎臓専門医を紹介：対象者21人（受診勧奨対象者を含む）

(2) 専門医紹介となった人の eGFR 区分



(3) 専門医紹介後の受診状況



5 ハイリスク者個別保健指導

蒲郡市国民健康保険の加入者の特定健康診査の結果から重症化が心配な方に対し、平成27年度から優先順位をつけて情報提供や保健指導を実施している。保健指導は個別面談の他各種保健事業も活用し、面談後には他の保健事業につなげている。

<実施状況>

- (1) 実施期間 令和元年6月～令和2年3月
- (2) 実施場所 保健医療センター、市役所、自宅、公民館などの出張健診先
- (3) 対象者 令和元年度特定健康診査の結果 HbA1c 5.6%以上の方
- (4) スタッフ 保健師2人、管理栄養士3人
- (5) 内容
 - ①HbA1c 実施. 6～6.4%、②HbA1c 6.5～6.9%の方に高血糖のちらしを健診結果に同封し情報提供
 - ②HbA1c 7.0%以上の方、または重複リスク保有者など重症化が心配と思われる方に対し、保健指導の希望調査票を送付。その後、直接面談できる日を調整し、健診結果を渡しながらか保健指導実施
 - ③医療機関からの依頼や本人が希望した方

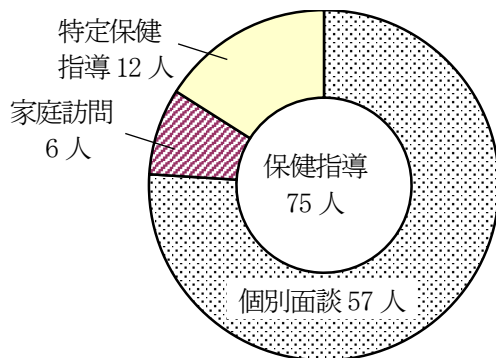
<実施結果>

① 対象者内訳 (人)

対象者区分	実施数
情報提供 (HbA1c5.6～6.4%)	2967
情報提供 (HbA1c6.5～6.9%)	349
情報提供 (HbA1c7.0%以上)	248
保健指導 (HbA1c7.0%以上 他)	75

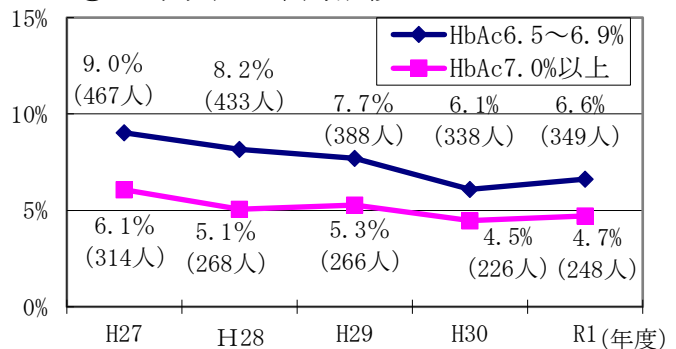
保健指導 (75人) 内訳	実施数
特定保健指導	12
7.0%以上 (特定除く)	57
重複リスク	2
強力受診勧奨	3
医療機関より依頼	1

② 保健指導の方法



※ 複数該当する者は左上から順に計上

③ 対象者の年間推移



6 CKD（慢性腎臓病）を知ろう啓発キャンペーン

慢性腎臓病への理解を深め、早期予防・重症化予防に取り組む者を増やすため平成30年度より実施している。

<実施状況>

- (1) 実施日時 令和元年11月23日（土） 午前9時～正午
- (2) 実施場所 市民会館 東ホール
- (3) 対象者 市民
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職員
- (5) 周知 平成30年度特定健診の結果下記に該当した方へ個別通知 797人
eGFR 60ml/min/1.73m²以下
市内医療機関と薬局にポスター及びちらしを配布、広報、ホームページ等にて周知

(6) 内 容

CKD（慢性腎臓病）を知ろう啓発キャンペーン「長生きの秘訣は腎臓にあり」

- ①各種コーナー（血圧・味覚・ロコモ・握力チェック、パネル・書籍展示等）
- ②市民公開講座（講演会、保健事業PR、腎臓食用特殊食品サンプル提供）
 - ア 講演1 「慢性腎臓病について」あおば内科クリニック院長 鈴木隆志氏
 - イ 講演2 「腎臓をいたわる食事」保険年金課 管理栄養士 中村真梨子氏

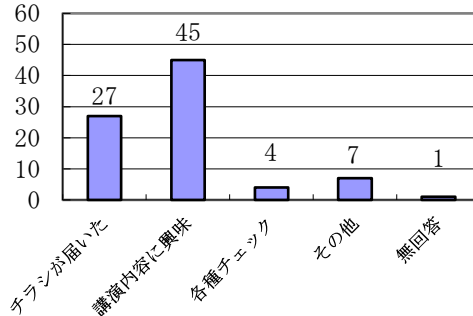
<実施結果>

- (1) 参加者数 90人（うち国民健康保険62人、後期高齢17人、その他11人）
- (2) 参加者内訳等

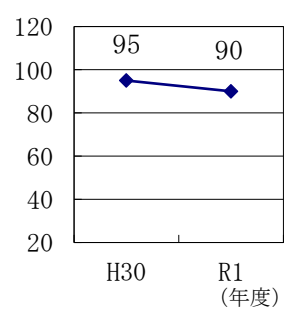
①男女別年齢別内訳 (人)

参加者 年齢	男性		女性	
	国保	他	国保	他
40～49	0	1	0	0
50～59	0	1	3	2
60～69	6	2	13	2
70～74	19	1	21	2
75～	0	6	0	11
合計	25	11	37	17

②参加理由 (複数回答あり) (人)

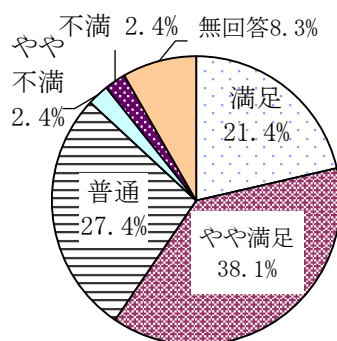


③参加人数 (人)

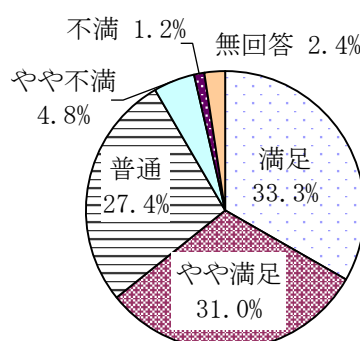


(3) 効果測定やアンケート結果等

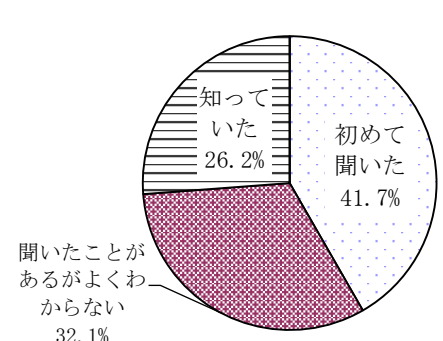
①各種コーナー満足度



②講演会満足度



③CKD（慢性腎臓病）の認知度



7 蒲郡腎臓病ネットワーク多職種研修会

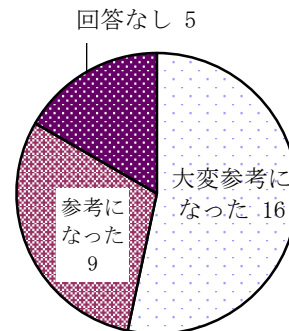
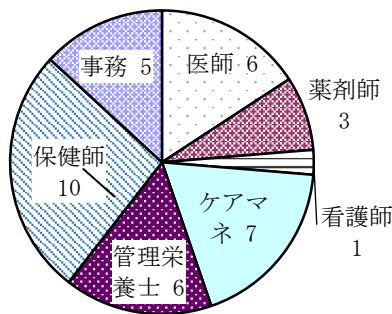
腎臓病の予防と重症化を予防するため、平成30年度より、蒲郡市の現状を共通認識し、課題解決に向けて連携して取り組むために保健医療関係者の多職種研修を実施している。

<実施状況>

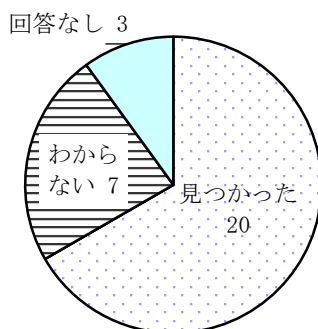
- (1) 実施日時 令和元年12月7日(土) 午後2時～4時30分
- (2) 実施場所 市民会館 大会議室
- (3) 対象者 蒲郡市内の保健福祉医療関係者
- (4) スタッフ 保健師、管理栄養士、事務職員
- (5) 周知 市内医療機関・市内薬局・長寿課にちらし設置、蒲郡ほいっぷネットワーク掲載等
- (6) 内容
 - 一部 最新情報「チーム医療・多職種連携」
 - 座長 カワイ外科 医師 河合雄氏
 - かかりつけ医の立場から いたう内科小児科 医師 伊藤真理氏
 - 腎臓専門医の立場から あおば内科クリニック 医師 鈴木高志氏
 - 市民病院の立場から 蒲郡市民病院 医師 太田圭祐氏
 - 行政の立場から 保険年金課 管理栄養士 中村真梨子氏
 - 二部 ワークショップ「事例検討」 座長 カワイ外科 医師 河合雄氏

<実施結果>

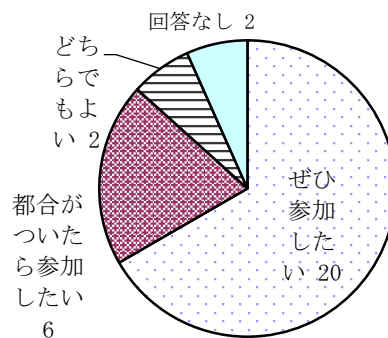
- (1) 参加者数 38人
- (2) 参加者内訳・効果測定やアンケート結果等 回収30人(回収率78.9%)
 - ①職種別内訳 (人)
 - ②研修会全体 (人)



③課題解決のヒント (人)



④今後の参加意向 (人)



8 蒲郡腎臓病ネットワーク協議会

蒲郡市の特定健康診査の結果では血糖値の高い人や糖尿病治療・服薬している人、人工透析者は愛知県に比べ多く、重症化予防のため糖尿病専門医・腎臓専門医だけで市民全体の患者を見ることは難しい状況にある。

医師会の先生方により「G-CKD.NET（蒲郡腎臓病ネットワーク）」が立ちあがったことを受け、行政の保健においても健診結果から腎症の適切な治療及び保健指導の必要な方を発見し慢性腎臓病の予防と重症化を予防するため、平成30年度より蒲郡市の現状を共通認識し、課題解決に向けて保健医療関係者のお世話人会との打ち合わせをし、会議を実施してきた。令和元年度は、早期から慢性腎臓病に取り組むため、かかりつけ医と専門医をつなぐネットワークを構築し、課題の整理と解決法を考える協議会を設立した。

<実施状況>

- (1) 実施日時 令和元年8月8日（木）・11月21日（木）・令和2年2月20日（木）
（年3回） 午後7時～8時30分
- (2) 実施場所 保健医療センター
- (3) 実施体制 委員10名 医師、臨床工学士、副市長、保健師、管理栄養士、事務職員
事務局 健康推進課

<実施状況>

	内容	出席
第1回	・蒲郡腎臓病ネットワーク協議会事業計画及び予算案 ・協議・情報交換	委員10人 事務局5人
第2回	・蒲郡腎臓病ネットワークの状況 ・多職種研修会の企画についての検討 ・ホームページの作成について ・CKD（慢性腎臓病）を知らう啓発キャンペーンの企画についての検討	委員9人 事務局4人
第3回	・蒲郡腎臓病ネットワークの状況 ・ホームページの修正について ・来年度について	委員9人 事務局5人